

式 辞

厳しかった冬の寒さも和らぎ、柔らかい春の日差しに包まれた今日の佳き日、
南会津町長 大宅宗吉（おおや そうきち）様をはじめ、御来賓の皆様の御臨席を賜るとともに、保護者の皆様の御列席のもと、令和三年度 福島県立南会津高等学校の入学式を挙行できますことは大きな喜びであり、深く感謝申し上げます。

ただいま入学を許可しました 二十二名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。
皆さんはこれから始まる高校生活への期待で胸をときめかしていることと思います。
また、これまで大切に育ててこられた保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。
さて、本校は昭和二十三年に県立南会西部高等学校として開校し、今年度で創立七十三周年を迎えます。
この長い歴史の中で、本校の卒業生は、六千四百名を越え、多くの有為な人材を
県内外に送り出してきました。そして地元でも、多くの卒業生が活躍していらっしゃいます。
そこで、入学式にあたり、新入生の皆さんに、お話ししたいことが二つあります。
まず一つは、「自ら学び自ら考える」ことです。A Iの普及や新型コロナウイルスの感染拡大などにより、私たちの社会は大きく変化してきています。新しい社会に対応していくには、「自ら課題を見つけ、深く学んでいくこと」が重要になります。そのためにも、日々の学習を大切に、興味あることにはチャレンジをしてください。新たな自分を発見することが、将来への夢につながっていきます。
もう一つは、「コミュニケーション能力を高める」ことです。S N Sの普及に伴いコミュニケーション手段が変わってきました。自分の考えを一方的に発信するのではなく、相手の気持ちや考えを理解して、自分の考えを正確に伝えることが大切です。そのためにも、様々な経験をとおして、よりよい人間関係を築きあげていく必要があります。部活動、生徒会活動、ボランティア活動などに積極的に参加してください。
保護者の皆様にもお願いいたします。お子様の健康面を含めた基本的な生活習慣、そして学習習慣の確立にご協力をお願いいたします。
高校生活は多感な時期のため悩んだり、困難に直面したりすることもあります。しかし、それの一つ一つ乗り越えていくことによって人間として大きく成長していきます。
お子様の健やかな成長のためにも学校との連携を密にとり、ともにお子様を支えていただきますよう、ご協力をお願い申し上げます。
本校は学校統合の方針が県から示されています。
現在、県教育委員会と南会津町、そして同窓会の方を中心に話し合いが進められております。
本校としては、生徒諸君の卒業まで責任を持ち、成長に寄与できるよう教職員一丸となって誠心誠意つとめていきたいと考えております。
結びに、ご多用の中のところ本日御臨席いただきました御来賓の皆様に改めて感謝申し上げ、保護者の皆様、そして新入生の皆さんに心からお祝いを申し上げ、式辞といたします。

令和三年四月八日

福島県立南会津高等学校長 中村 康伸